



公益社団法人 **土木学会**
Japan Society of Civil Engineers



土木 の日

シンポジウム

参加費

無料

地域インフラと市民普請 ～農山村・漁村における市民連携～

「市民主体、市民主導の地域インフラへの関わりが一切なくなると何が起きるのだろうか？」この逆説的な問いこそが、市民普請の役割を今一度位置づけるきっかけになるだろう。都市や農山村・漁村、平地、中山間地などの地域の基盤となる場、川・道・まちづくり・森林など、管理するもの、それぞれに応じた市民普請の役割や課題がある。本シンポジウムでは、農山村・漁村に焦点を当て、「川」「農地」「道」の視点から農山村・漁村の現状を共有し、農山村・漁村、中山間地の地域インフラのあり方と市民普請役割や課題について議論する。

2018年

11月18日(日)

13時00分～17時00分
(受付 12時30分)

土木学会講堂

(東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内)

お申込みは土木学会HPから

<http://www.jsce.or.jp/event/>



基調講演:

知花武佳(東京大学)

「中山間地が担ってきた国土保全・
人材育成機能のこれから」

事例報告:

西村祐人(文化財保存計画協会)

「川原園井堰にみる土着的土木技術」

真田純子(東京工業大学)

「石積みから見る地域の管理」

岩城一郎(日本大学)

「みんなで守る。橋のメンテナンスネット」

総合討議:

司会 萱場祐一(土木研究所)